

autoCULT

Piaggio Ape Pentaro Renntransporter "Messerschmitt" (米国, 1961)

ピックアップトラック

Scale 1/43

#08016

available

12/2021

Limited edition 333 Stk.



既存のビジョン

アメリカ人のカール・クレマンはメッサーシュミットブランドに一身をささげた。しかし彼はオリジナルデザインに触発されたのではなく、「もしも…だったら」というモットーに従って「現実的で、適切に前向きな、さらなる発展」を具現化した。

それがどのようなものだったのかは、彼がオリジナルに基づいて特別に設計したレコードカーが表している。しかしながらそのモデルは変更を余儀なくされた。主な理由は、1955年8月29日にホッケンハイムリンクでメッサーシュミットの乗務員によって達成された24時間の記録だった。カール・クレマンは類似したスピードスターを作ったが、彼の身長に合わせてボディを延長し、エンジンをより強力に350 ccまで拡張させ、さらなる運転の快適さを提供した。

彼のレーシングカーをイベントに運ぶために、その賢いアメリカの発明家は

その用途を満たすレーシングトランスポーターを探し始めた。彼はセミトレーラートラックの中に、探していたもの、つまり世界最小の大量生産されたトラック、ピアaggio Ape Pentaroを見つけた。インドで組み立てられたセミトレーラーはイタリア製オリジナル品に匹敵するものだったが、カール・クレマンは彼のニーズに合わせてトラックを改造した。簡潔に言えば、彼がメッサーシュミットのレコードカーのためにレーシングトランスポーターを作り出したことを意味している。それを一般に公開するため、彼はセミトレーラーを企業カラーに塗装し、メッサーシュミットのロゴを入れた。（架空の）レタリング「メッサーシュミットレーシングチーム」が防水シートに掲げられた。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de